

## <主な器具の点検・注油ポイント>

### ミラートップ

- 長期使用による経年劣化だけでなく、故意にミラーの角度を変えたり、ケースを変形させること、シャフトを曲げたりすることは、製品寿命を縮め、鏡部やケースの脱落につながる恐れがありますのでおやめください。
- ハンドルの着脱時に鏡部を持って強く扱ったり、使用時の過剰な締め込みをしますとシャフト接合部やケースに負担がかかり、寿命を縮めます。
- ミラーとハンドルのメーカーを統一してお使いください。ネジ部破損の原因となります。

**【ミラー縁の汚れチェック】**

下記は、「ミラートップ」を家庭用洗剤で手用洗浄し、オートクレーブ滅菌したものと、医療用アルカリ性防錆洗浄液で浸漬洗浄後、オートクレーブ滅菌したものです。

**【家庭用洗剤で手用洗剤】**



ミラーの縁に残存した汚れが固着し、茶色く変色している。

**【洗浄液で浸漬洗浄】**



残存汚れはみられない。

医療用アルカリ性防錆洗浄液「ゼットワンecoファインリキッド」に15分浸漬

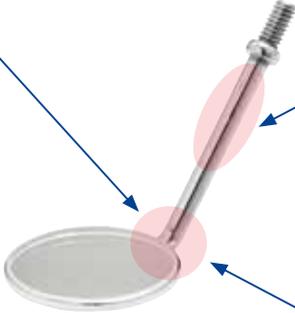
**【ケースとシャフト接合部の外れ】**

**【正常品】**



**【異常品】**



**【シャフト部の変形】**

**【正常品】**



**【異常品】**



ケースの変形による

**【鏡部の外れ】**



### ケース・コットンボックス

- 開閉の劣化を防ぐ為、蝶番、稼動部、バネ部、ジョイント部に定期的な注油を行う必要があります。



注油ポイント

油



ハサミや鉗子の【ジョイント部】等の金属が擦れ合う部分には、オートクレーブ前に医療器具専用防錆潤滑油「13093 インスツルメントオイル」を塗布することをおすすめします。

※注油についてのご質問は、巻末のお問い合わせ先へご連絡ください。